

病児保育の現状について

1 病児・病後児保育事業について

市では、平成27年4月より、「このはなファミリークリニック（清須市清洲一丁目4番地6）」に業務委託し、病児保育事業（病児保育室 カブルーム）を始めました。

昨年度まで、市内2園（須ヶ口保育園・花水木保育園）において病気の回復期に利用する病後児保育を行ってきましたが、病中の児童を預かる病児保育をスタートさせることにより、より一層保護者の就労支援に繋げることができました。

病児・病後児保育とは・・・お子さんが病中又は病気の回復期にあつて、医療機関での入院治療をする必要はないが安静の確保が必要であり、集団保育を受けることが困難な児童の保育を行い、保護者の子育てと就労を支援するもの。

●実施事業概要

	事業内容	
実施場所	病児保育室 カブルーム (このはなファミリークリニック2階)	りすちゃんルーム (須ヶ口保育園内)
実施事業	病児保育・病後児保育	病後児保育
定員	5人	3人
利用時間	月曜日～金曜日 午前8時～午後6時	
対象年齢	7か月児～小学校3年生	
利用料	所得税課税世帯 2,000円 所得税非課税世帯 1,000円 市民税非課税・生活保護世帯 無料	

※花水木保育園で行っていた病後児保育事業は平成27年度からは廃止。

2 利用人数実績

●病児・病後児保育事業への登録・利用人数（カブルーム）

	4月	5月	6月	7月	合計
延利用人数	38人	31人	36人	44人	149人

本年度の利用見込みは、他市の状況を踏まえ、年300人程度を見込んでいましたが、見込み数より多くの利用者数となっています。

●施設別利用状況

施設名	人数
保育園	140人
乳児	117人
幼児	23人
幼稚園	1人
小学校	8人
計	149人

●地区別利用状況

地区	人数
清洲	79人
新川	16人
西枇杷島	47人
春日	7人
計	149人

3 病後児保育事業の利用人数（須ヶ口保育園、花水木保育園）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
須ヶ口保育園	14人	37人	20人	10人	12人	10人
花水木保育園	—	—	15人	18人	10人	—
合計	14人	37人	35人	28人	22人	10人

カブルームと須ヶ口保育園が相互に紹介することで今年度の病後児保育利用が増えている。

利用月別人数
4月：3人、5月：6人
6月：1人、7月：0人

◆7月8日 中日新聞 朝刊 尾張版

中 日 新 聞

2015年(平成27年)7月8日(水曜日)

尾 張 版 26

尾張版



旅立
近藤 憲男
光風会所属

ニュース・情報は下記へ
社 会 部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

一宮 総局 〒491-0851
一宮市大江1-13-13
0586-72-4545 Fax72-5035

津島通信局
0567-28-2157 Fax28-2158

稲沢通信局
0587-32-8800 Fax23-8035

江南通信局
0587-54-4001 Fax54-9622

蟹江通信局
0567-95-3022 Fax95-3000

春日井支局
0568-81-2036 Fax81-2797

大山通信局
0568-61-2612 Fax61-2613

小牧通信局
0568-72-1177 Fax72-6530

中日新聞へのご意見は、
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ



病後児保育が行われている部屋。壁には折り紙の飾り付けもある。須ヶ口保育園

清須の病児保育室人気

清須市清洲の個人開業医が四月に開所した病児保育室「カブルーム」が、人気を集めている。市が月平均で当初予想したよりも十人ほど多い三十五人程度の利用があった。市内ではこの種の施設は初めてで、潜在的なニーズを呼び起こしたとみられる。市は県の補助金を活用して本年度一般会計予算六百六十九万円を投じて、後押ししている。（福本英司）

3ヵ月で100人超利用

病児保育は、入院は不要だが、保育園などに通た子どもを、最大で五人受け入れられる。六畳とでも預かる施設。市内に十五畳ほどの二部屋あり、治療は終えたが、回り、子どもは仕事をしなげなかつたので、ありがた。この声も寄せられた。真田美さんは「地域に役立つ施設にしたい」と話す。

カブルームは、稲沢市出身の医師横倉久幸さん（金）が三月にオープンした内科・小児科・皮膚科病児保育を実施している。このころはファミリー名古屋の知人から「施設課税状況により最大でもクリニック」の二階にある。最初は利用者は少ないが、室長を務めている。ろうごと言われたが、開所

西尾張他の3市でも

西尾張地域の自治体でも病児保育事業の実施が進んでいる。県下清須市のほか、津島、岩倉、北名古屋の三市でも始まった。二〇二二年度に内科・小児科クリニックに委託して始めた北名古屋

津島市は昨年度から始め、一年間で延べ五十三人が利用。二〇二二年度から実施している岩倉市は、二百人前後が利用しているという。一方、本年度から民間の保育園にも病後児保育を委託した一宮市でも、ニーズの高まりから病児保育の実施も検討しているという。